

2020年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年9月25日

上場会社名 ウルトラファブリックス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4235 URL <https://www.ultrafabricshd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 河辺 尊 TEL 042-644-6515
 四半期報告書提出予定日 2020年9月25日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,593	△21.0	143	△75.1	△74	—	△34	—	△34	—	△340	—
2019年12月期第2四半期	5,816	4.4	577	30.1	302	111.9	164	541.7	164	541.7	△135	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△4.06	△4.06
2019年12月期第2四半期	19.67	17.44

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	28,084	9,532	9,532	33.9
2019年12月期	28,017	10,052	10,052	35.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「（参考）種類株式の配当の状況」をご覧ください。
3. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、新型コロナウイルス感染症が来期以降、当社事業に与える影響を合理的に見積もることが現段階では困難であり手元流動性にも配慮する必要があることから、現時点では当該基準日における配当予想額は未定としております。今後、開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△21.3	200	△78.6	△150	—	△90	—	△90	—	△10.62

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2. 連結業績予想の修正については、本日（2020年9月25日）公表いたしました「2020年12月期第2四半期連結業績の前期実績との差異および通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	6,929,400株	2019年12月期	6,877,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	444,233株	2019年12月期	468,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	6,436,767株	2019年12月期2Q	6,282,076株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は、以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2020年12月期	—	0.00			
2020年12月期(予想)			—	—	—

(注) A種優先株式に係る2020年12月期期末配当につきましては、新型コロナウイルス感染症が来期以降、当社事業に与える影響を合理的に見積もることが現段階では困難であり手元流動性にも配慮する必要があることから、現時点では未定としております。今後、開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱に加えて、3月以降は新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動抑制の影響を受けて急速に悪化し、極めて厳しい状況にありました。段階的に経済活動が再開され、下げ止まり感も見せていますが、感染者数は引き続き高水準で推移している等、先行きへの不透明感が続いております。

このような状況下、当初はこれまで戦略的に事業拡大に取り組んできた自動車及び航空機向けが牽引して順調なスタートを切ったものの、オフィス向けが主力の家具用では在宅勤務、自動車用では4月・5月の北米における工場の操業停止、航空機用では民間航空機の大幅な運航停止、及び、用途に関係なく顧客の製造や販売の拠点が閉鎖されたこと等により第2四半期以降の売上が大きく減少しました。その後、経済活動の再開に伴い、一部で売上が回復する兆しも見せており、用途や販売地域の分散によって業績悪化リスクは緩和されております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益45億93百万円(前年同四半期比21.0%減)、販売量の減少や工場稼働率の低下に伴う固定費率の上昇によって営業利益1億43百万円(前年同四半期比75.1%減)、税引前四半期損失74百万円(前年同四半期は税引前四半期利益3億2百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失34百万円(前年同四半期は親会社の所有者に帰属する四半期利益1億64百万円)となりました。

用途別の売上収益の概況は、次のとおりであります。

①家具用

当社グループの製品は、北米を中心にハイエンドのオフィス、建築デザイン、住宅、ホテルやレストランなど幅広い分野で採用されています。柔らかな風合いや、通気性など高い機能性に加え、昨年発売した『Volar Bio』に代表される環境に配慮した製品も評価されています。

当第2四半期累計期間は、主要顧客の1社が当社からの出荷方法を変更したことや、新型コロナウイルス感染症拡大による需要減少によって減収となりました。

この結果、家具用の売上収益は12億74百万円(前年同四半期比35.3%減)となりました。

②自動車用

この事業分野では、これまでギャップハイダーやギアシフトブーツといった一部の内装品に当社製品が使われておりましたが、高い摩耗性や耐久性が要求されるシート用製品にも採用されております。

当第2四半期累計期間は、シート用製品が牽引したことで、内装品向けの販売減少をカバーし、当部門は増収となりました。

この結果、自動車用の売上収益は14億57百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

③航空機用

プライベートジェットの内装を中心に事業展開をしてきましたが、市場規模が大きい民間航空機においてシート用製品などに採用されるなど、戦略的に事業拡大に取り組んでおります。本革や塩化ビニールと比べて大幅に軽量で二酸化炭素排出量削減に効果的な素材であることに加え、清掃の容易さや抗菌性の点でも評価されています。

当第2四半期累計期間は、4月以降の販売が大きく減少したものの、第1四半期に開始した新規プログラム向け製品出荷が寄与して増収となりました。

この結果、航空機用の売上収益は5億30百万円(前年同四半期比5.2%増)となりました。

④その他

その他事業分野には、手袋・RV・ボート・船舶・医療用などが含まれます。それぞれの分野の売上収益は安定的に推移することを見込んでいましたが、全ての分野で4月以降の販売が失速し、顧客の在庫調整も含めた医療用の販売不振が大きく、当第2四半期累計期間も減収となりました。

この結果、その他の売上収益は13億31百万円(前年同四半期比31.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は280億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。これは主に、営業債権及びその他の債権、固定資産の減少があったものの、現金及び現金同等物、棚卸資産が増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は185億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億88百万円増加いたしました。これは主に、引当金の減少があったものの、有利子負債及びその他の金融負債が増加したことによるものであります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は95億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億21百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上、剰余金の配当及びその他の資本の構成要素の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8億30百万円増加し22億79百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加があったものの、有利子負債の増加、減価償却費及び償却費の計上があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年通期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難な状況にあることから未定としておりましたが、当社を取り巻く事業環境の今後の動向が一定程度見通せる状況になってきたことから、最近の市場動向や現時点において入手可能な情報に基づき算定しました2020年通期連結業績予想を公表しております。

詳細につきましては本日公表の「2020年12月期第2四半期連結業績の前期実績との差異および通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対応状況について

当社は、国内外で新型コロナウイルスの感染拡大が収束を見せない中、従業員、関係取引先、周辺住民皆様の安全を最優先と考え、感染拡大対策に取り組んでおります。当社は医療家具向けにも製品を供給しており、人の生命と健康の維持に直結する重要なサプライチェーンの一翼を担っているため、感染拡大防止に取り組む地域社会の一員として、事業の継続と製品の安定供給のために適切な措置を講じてまいります。本日時点での当社の対応状況は、以下の通りであります。

- ・従業員及びその家族に当該感染症の罹患者は発生しておりません。
- ・ソーシャルディスタンスの確保、手洗い、消毒の徹底など、感染予防対策の強化を実施しております。
- ・国内各事業所では時差通勤や在宅勤務の推進、工場での体温測定、出張及び移動についても必要に迫られた案件のみに限定する等の感染予防対策を実施しております。
- ・在外子会社のUltrafabrics Inc.（米国ニューヨーク州）では、現地政府の指示や現地情勢を踏まえ在宅勤務により出社人数を制限しながら営業活動を継続しております。倉庫・出荷業務については通常体制での活動を再開しております。
- ・サプライヤーの皆様と緊密な連携をとりサプライチェーンを通じて感染の拡大が製品生産に与える影響を最小限にとどめております。
- ・事業所や倉庫において想定されるあらゆるシナリオに備え、引き続き安全・安心な製品を供給できる体制の維持に努めております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,448	2,279
営業債権及びその他の債権	1,597	1,216
その他の金融資産	0	22
棚卸資産	2,269	2,418
その他の流動資産	190	368
流動資産合計	5,505	6,302
非流動資産		
有形固定資産	5,413	5,131
使用権資産	908	821
のれん	7,831	7,702
無形資産	7,111	6,756
その他の金融資産	973	981
繰延税金資産	272	390
その他の非流動資産	5	1
非流動資産合計	22,512	21,782
資産合計	28,017	28,084

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
有利子負債	3,866	5,362
リース負債	192	177
営業債務及びその他の債務	826	766
その他の金融負債	233	534
未払法人所得税等	11	0
引当金	257	92
その他の流動負債	169	185
流動負債合計	5,553	7,116
非流動負債		
有利子負債	11,097	10,088
リース負債	710	639
退職給付に係る負債	211	210
引当金	18	18
繰延税金負債	326	441
その他の非流動負債	49	40
非流動負債合計	12,412	11,437
負債合計	17,965	18,553
資本		
資本金	1,467	1,487
資本剰余金	2,270	2,274
利益剰余金	6,924	6,671
自己株式	△259	△245
その他の資本の構成要素	△349	△655
親会社の所有者に帰属する持分合計	10,052	9,532
資本合計	10,052	9,532
負債及び資本合計	28,017	28,084

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	5,816	4,593
売上原価	△2,999	△2,551
売上総利益	2,816	2,042
販売費及び一般管理費	△2,245	△2,039
その他の収益	6	141
その他の費用	△1	△1
営業利益	577	143
金融収益	14	41
金融費用	△289	△258
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△)	302	△74
法人所得税費用	△139	40
四半期利益又は四半期損失 (△)	164	△34
四半期利益又は四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	164	△34
非支配持分	—	—
四半期利益	164	△34
1株当たり四半期利益又は四半期損失 (△)		
基本的1株当たり四半期利益又は基本的1株当たり 四半期損失 (△) (円)	19.67	△4.06
希薄化後1株当たり四半期利益又は希薄化後1株当 たり四半期損失 (△) (円)	17.44	△4.06

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	3,075	1,822
売上原価	△1,654	△1,061
売上総利益	1,421	760
販売費及び一般管理費	△1,168	△918
その他の収益	8	132
その他の費用	△0	△0
営業利益又は営業損失(△)	261	△27
金融収益	6	10
金融費用	△170	△126
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	96	△143
法人所得税費用	△55	12
四半期利益又は四半期損失(△)	41	△131
四半期利益又は四半期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	41	△131
非支配持分	—	—
四半期利益又は四半期損失(△)	41	△131
1株当たり四半期利益又は四半期損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益又は基本的1株当たり 四半期損失(△)(円)	4.94	△15.40
希薄化後1株当たり四半期利益又は希薄化後1株当 たり四半期損失(△)(円)	4.42	△15.40

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益又は四半期損失 (△)	164	△34
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資		
本性金融商品	—	—
確定給付制度の再測定	—	—
項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△159	△229
在外営業活動体の換算差額	△140	△77
項目合計	△299	△306
その他の包括利益合計	△299	△306
四半期包括利益	△135	△340
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△135	△340
非支配持分	—	—
四半期包括利益	△135	△340

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益又は四半期損失(△)	41	△131
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融商品	—	—
確定給付制度の再測定	—	—
項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△82	△17
在外営業活動体の換算差額	△123	△53
項目合計	△205	△69
その他の包括利益合計	△205	△69
四半期包括利益	△164	△200
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△164	△200
非支配持分	—	—
四半期包括利益	△164	△200

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	
2019年1月1日残高	1,409	2,306	6,757	△333	△140	10,000	10,000
四半期利益	—	—	164	—	—	164	164
その他の包括利益	—	—	—	—	△299	△299	△299
四半期包括利益合計	—	—	164	—	△299	△135	△135
自己株式の処分	—	—	—	41	—	41	41
ストック・オプションの行使	—	△5	—	—	—	△5	△5
剰余金の配当	—	—	△198	—	—	△198	△198
株式に基づく報酬取引	57	105	—	—	—	163	163
所有者との取引額等合計	57	100	△198	41	—	1	1
2019年6月30日残高	1,467	2,407	6,723	△292	△438	9,867	9,867

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	
2020年1月1日残高	1,467	2,270	6,924	△259	△349	10,052	10,052
四半期損失(△)	—	—	△34	—	—	△34	△34
その他の包括利益	—	—	—	—	△306	△306	△306
四半期包括利益合計	—	—	△34	—	△306	△340	△340
ストック・オプションの行使	—	△2	—	14	—	13	13
剰余金の配当	—	—	△218	—	—	△218	△218
株式に基づく報酬取引	21	5	—	—	—	25	25
所有者との取引額等合計	21	3	△218	14	—	△180	△180
2020年6月30日残高	1,487	2,274	6,671	△245	△655	9,532	9,532

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	302	△74
減価償却費及び償却費	683	689
金融収益	△14	△12
金融費用	289	214
固定資産除売却損益(△は益)	1	1
棚卸資産の増減額	△636	△171
営業債権及びその他の債権の増減額	89	359
営業債務及びその他の債務の増減額	71	△30
その他	38	△182
小計	822	793
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△229	△211
法人所得税の支払額	△132	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	461	513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△125	△45
無形資産の取得による支出	△4	△24
その他	△6	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	800	997
短期借入れによる収入	—	850
短期借入金の返済による支出	—	△305
長期借入金の返済による支出	△856	△845
配当金の支払額	△197	△218
リース負債の返済による支出	—	△99
その他	△54	13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308	392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	4
現金及び現金同等物の増減額	11	830
現金及び現金同等物の期首残高	1,248	1,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,259	2,279

- (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。